

核兵器廃絶ネットワークみやぎ

宮城 AALA 機関誌より転載

「5/22 Peace Wave 集会」へのメッセージ

水戸部秀利

私は、73歳の高齢の内科医です。

急に膝を痛め、参加できなくなりました。私の思いを、みなさんにお伝えします。

1996年に、仙台市の長町病院の被爆者外来を担当してから、約25年、木村緋沙子さんたち被爆者の方々とのお付き合いになります。

私は、昭和23年生まれ、戦争も原爆投下も直には体験していない団塊世代です。

しかし、戦後日本国憲法下で、学校教育を通して9条や基本的人権、戦争と広島・長崎の被爆を知識として学びました。

この私を、知識としての憲法や被爆から、行動としての反戦や反核に動かしたのが、木村さんはじめとする宮城県の被爆者の方々との、健診や医療を通じてのお付き合いです。

被爆者の方々から、その体験をリアルにお聞きすることもできました。

宮城県の被爆者は、この25年で櫛の歯が掛けるように少なくなっています。多くの方が加齢もありますが、被爆による発がんなどのいわゆる「晩発性障害」です。

被爆から60年70年経ってもなお、放射線被爆の影響におののきながら生活しています。

「広島・長崎を繰り返してはならない」そのために「地球上から核兵器をなくす」

この思いは、私は被爆者のみなさんの足元にも及びませんが、共有しています。

私は 11 年前の 3.11 東日本大震災・引き続いた福島原発事故を目の当たりにしました。

核兵器だけでなく、原発もまた被曝によって人類の生存を脅かすことを体験しました。

原発は「トイレなきマンション」という矛盾を持つエネルギー源という知識はありましたが、「核の平和利用」という仮面に流されていました。

しかし、この事故を通じて、知識として脱原発から、行動としての脱原発にかわりました。

原発は、原爆と生まれも育ちも一緒です。

現在、「脱原発、そして原発に変わるエネルギーを市民の手で」をかかげて、ささやかですが、発電事業も手掛けています。

さて、2/24 のロシアのウクライナ侵攻から 3 ヶ月経過しました。

ロシア・プーチンの国連憲章違反の許しがたい蛮行です。

さらに、核兵器使用で脅し、原発すら攻撃の対象とする異常事態です。

従来の、「核抑止力による平和均衡」とか、「原発は安全」だ、などという考えは幻想にすぎないことがあきらかになりました。

この事実の前に、核兵器も原発も人類と共存できないことが、一層はっきりしました。

私の生業は医業です。日々、命のたくましさとしなやかさ、一方では、その危うさとはかなさに、お付き合いする毎日です。だからこそ、命の唯一無二、大切さを実感しています。私たちの使命は命を守ることであり、それを奪い合うことは絶対に許せません。

殺人は犯罪です。チャプリンの「殺人狂時代」のように、戦争は国家による犯罪です。

大英帝国と非暴力で戦ったガンジーは、私の最も尊敬する人ですが、彼は「戦争に勝者はいない」と言っています。

迷彩服を着た兵士一人ひとりも、呼吸し心臓が鼓動し血液が流れ体温があります。そして親も兄弟もあり、恋人もいるかもしれません。誰一人、失ってよい命などありません。

私は、戦後の憲法 9 条の元で育ちました。9 条は国家間のもめごとは、昔のような殺し合いではなく、話し合いで解決すること。そのために、武力の使用だけでなく、武力による威嚇、つまり脅しも禁じています。

考えてみれば核兵器は最悪の武力です。核の脅し・核抑止力そのものが 9 条違反です。

今回のロシアの蛮行を口実に、敵基地攻撃とか核共有とか 9 条改変を叫ぶ勢力が、ゾンビのように鎌首をもたげています。それに同調するように「人間なんて戦争するもの」とか「歴史は繰り返す」といった歴史回顧や諦め、武力必要論が広がりつつあります。

フィンランドやスエーデンが NATO 加盟を申請するなど、軍事対軍事のおぞましい構図が再び拡大しようとしています。

振り返れば、500 年前の日本は国取り合戦に明け暮れた戦国時代、その後の 250 年の二本差しの武士の闊歩する土農工商の江戸時代、明治維新から 80 数年、絶対天皇制のもと侵略戦争に明け暮れました。

そして第二次世界大戦、太平洋戦争、原爆投下という惨状を体験しました。

このような歴史を経て、人類が作り上げてきたのが、国際的には「国連憲章」であり、国内的には「日本国憲法」です。この憲法のもと日本は「戦争

をしない国」として先んじてきました。そして唯一の被爆国の体験から、生み出されたのが「核兵器禁止条約」です。

歴史は決して無駄に流れてはいません。

武士がチャンバラするような、土農工商の時代に逆戻りすることはありません。

人類は体験を積み重ねて、紆余曲折はあっても、「命と人権」を最優先にする社会を目指して進歩しています。だからホモ・サピエンス（賢いヒト）なのです。

ロシア、プーチンの蛮行にたじろがずに、悲観的になることなく、「まず武器を置いて、話し合いを」の声で包囲し、そして「核兵器 NO」の声をさらに大きくしていきましょう。